

作州の民芸ものづくり展

第24回

◆横野和紙の紙漉きや陶芸など体験・実演を予定しております◆

2023(令和5年)

10月7日(土)～15日(日)

【会場】ポートアート&デザイン津山

午前10時～午後5時(最終日は午後3時まで)

休館日:10月10日(火)、11日(水)

入場無料

主催:津山民芸協会
ポートアート&デザイン津山

後援:岡山県
津山市
津山市観光協会
津山商工会議所
山陽新聞社
津山朝日新聞社



第24回 作州の民芸 ものづくり展 作り手紹介



竹彫刻(竹友)
小林 博道(にばやし ひろみち)

永い年月をかけて囲炉裏の煙にいぶされて飴色に色づいた煤竹(すすだけ)を素材に昆虫や小物(箸、バターナイフ等)を作っています。



竹製郷土玩具(津山民芸社)
白石 靖(しらいし きよし)

年賀切手(S60年)の意匠に採用された事で広く知られるようになり、津山の代表的な郷土玩具と言われる様になりました。作州牛や十二支の竹細工など製作しています。



横野和紙(上田手漉和紙工房)
上田 繁男(うえだ しげお)

横野和紙は金箔の保護の紙「箔合紙(はくあいし)」を得意とし、その技術を活かして、いろいろな民芸紙を漉(す)いています。



絵ことば
今井 烏石(いまい うせき)

私は書家ですが、民芸の面白さは手作りです。私は家の車庫で書の紙を一枚一枚すきなおして、その紙に心に響く言葉を書き、絵を描いて表現しています。



創作陶芸(やす工房)
木原 康二(きはら やすじ)

子供の頃から絵を描くことが好きで陶芸作品に取り入れています。人・時間・仕事に縛られることなく自由にマイペースな作品作りが目標です。



三楽陶芸(ふう津山陶芸工房)
奥田 福泰(おくだ ふくやす)

使う人のことを思い新しい形・色・使い方を日々模索しながら作陶しています。普段使いの器の他に植木鉢・干支の置物なども作っています。



磨研土器(工房 とも)
植木 智子(うえき ともこ)

土の美しさをまっすぐに引き出して、静かな光沢を纏う「磨研土器」という、古代技法の焼き物を制作しています。



木工(craft Arts HIRO)
森本 博一(もりもと ひろかず)

木と手のぬくもりを形に。木の美しさや温もりを感じられる暮らしの道具、日常を彩る小物を作っています。



和の服 YOKIKOTO
岡本 新吾(おかもと しんご)

岡山産生地や拘り、デニムを中心とした和の服を「良い物がいつも通りに当り前に」をモットーに伝統を継承しお仕立てしています。



パッチワーク(きんちゃいや)
頭士 浩子(ずし ひろこ)

捨てようと思っていた服や着物を使って、素敵な作品が生まれます。布と布の組み合わせを楽しみながら、小物から大きなタペストリーまで作っています。



ベンガラ染め 志楽
遠藤 裕志(えんどう ひろし)

昔、吹屋は繁栄していましたが、今は限界集落になりつつあります。吹屋をもう一度華やかな町にしたいと鳥取から移住、日々ベンガラ染めをしています。



吹きガラス
長師器(ながしき)

長く愛用していただけるようなシンプルなガラス器をひとつひとつ吹いて制作しています。



ポートアート&デザイン津山
〒708-0841 岡山県津山市川崎823
tel.0868-20-1682 info@port-tsuyama.com



◆駐車場：専用駐車場5台(当館から西へ100m)
◆臨時駐車場：津山東公民館の白線のない南側フリースペース
※本館隣「マンション東松原」駐車場のご利用はご遠慮ください

主催：津山民芸協会(連絡先：0868-29-1061 奥田)
ポートアート&デザイン津山

後援：岡山県・津山市・津山市観光協会・津山市商工会議所・山陽新聞社・津山朝日新聞社

※やむを得ない事情により会期や内容等が変更になる場合がございます